

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和7年5月27日(火)
感染症対策センター
(衛生環境研究所)

令和7年第14週から第17週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(14週～17週)4週 (R7.3.31～R7.4.27)	前回(10週～13週)4週 (R7.3.3～R7.3.30)	前々回(6週～9週)4週 (R7.2.3～R7.3.2)
1 感染性胃腸炎 (640) [↑ 74]	1 感染性胃腸炎 (566)	1 新型コロナウイルス感染症 (765)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (253) [↓ 45]	2 新型コロナウイルス感染症 (373)	2 感染性胃腸炎 (409)
3 新型コロナウイルス感染症 (182) [↓ 191]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (298)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (268)
4 インフルエンザ (155) [↑ 19]	4 インフルエンザ (136)	4 インフルエンザ (138)
5 伝染性紅斑 (73) [↑ 18]	5 伝染性紅斑 (55)	5 RSウイルス感染症 (55)
6 その他 (167) [↑ 53]	6 その他 (114)	6 その他 (84)
(合計 1,470)	(合計 1,542)	(合計 1,719)

※急性呼吸器感染症(ARI)定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数である。
※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

増加した疾病		減少した疾病	
RSウイルス感染症	67%	新型コロナウイルス感染症	51%
伝染性紅斑	33%	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15%
インフルエンザ	14%		
感染性胃腸炎	13%		

3 急性呼吸器感染症(ARI)報告数

第15週から第17週の患者報告数は、5,090件であった。

※週報第15週分から定点報告の対象となった。

<急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスとは>

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

なお、急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに下記の定点把握対象感染症で診断された場合、両方に報告されます。

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症を5類感染症に位置づけられました。

4 コメント

【伝染性紅斑】

県内全域に警報を発令しています。飛沫や手指を介して感染し、原因となるウイルスはアルコールが効きにくいので、手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。特に、妊娠中に感染した場合、胎児へ影響する可能性があるため、注意が必要です。

【百日咳】

小中学生を中心に患者報告が続いており、感染者数が増加しています。長く続く咳が特徴で、感染力が非常に強いため、注意が必要です。有効な予防法は予防接種であり、乳幼児期に定期接種を受けることが重要ですが、ワクチンの免疫効果は4～12年で弱まってくるといわれており、接種済みの方でも感染することがあります。ワクチン未接種の新生児や早期乳児が感染すると重症化しやすいため、赤ちゃんや妊産婦のおられるご家庭では、周囲の家族などが感染源とならないよう特に注意してください。咳などの症状がある場合は早めに受診し、手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

一定数の患者報告が続いているため、引き続き手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

また、まれにA、B、G群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合がありますため、土に触れた手などの不潔な手で直接傷口を触らないなど、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

【感染性胃腸炎】

ノロウイルス等による感染者数が多い状況であり、注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。感染した人の便や吐物を処理する場合には、ゴム手袋やマスクを着用し、処理後の床や感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤を使用して消毒しましょう。

【ダニ媒介感染症】

5月に入り、ダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)と日本紅斑熱の患者が今年初めて報告されているため、注意しましょう。マダニは春から秋にかけて活発となることから、野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。

【梅毒】

令和6年は過去最多の41件、令和7年は4月時点で16件の感染が報告されており、引き続き注意が必要です。感染した場合は、適切な治療が必要であり、早期発見することで感染症拡大防止につながります。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

令和7年第14週～第17週の報告患者数

令和7年5月14日 作成

区 分	今回報告患者数 第14週～第17週(4週分)					前回報告患者数 第10週～第13週(4週分)				前々回報告患者数 第6週～第9週(4週分)				前回比 増 減	令和7年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	28	35	92	155	19	38	27	71	136	28	28	82	138	14%	3,640
2 新型コロナウイルス感染症	63	46	73	182	-191	126	63	184	373	192	126	447	765	-51%	2,401
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	10	3	5	18	-9	3	13	11	27	10	3	7	20	-33%	88
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	201	20	32	253	-45	187	56	55	298	183	44	41	268	-15%	1,111
5 感染性胃腸炎	274	155	211	640	74	214	194	158	566	165	123	121	409	13%	1,958
6 水痘	18	15	6	39	21	12	6	0	18	6	4	0	10	117%	81
7 手足口病	0	1	1	2	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0%	16
8 伝染性紅斑	51	1	21	73	18	23	0	32	55	7	1	17	25	33%	199
9 突発性発疹	3	6	7	16	5	4	1	6	11	2	4	7	13	45%	51
10 ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	-	2
11 流行性耳下腺炎	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	-	2
12 RSウイルス感染症	37	7	21	65	26	18	3	18	39	16	2	37	55	67%	169
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	0	0	0	-100%	1
14 流行性角結膜炎	10	0	3	13	9	3	0	1	4	0	0	0	0	225%	21
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	2
16 無菌性髄膜炎	0	0	1	1	-1	2	0	0	2	3	0	0	3	-50%	7
17 マイコプラズマ肺炎	4	1	2	7	-2	6	3	0	9	4	2	1	7	-22%	45
18 グラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	2	3	0	5	4	0	1	0	1	0	0	0	0	400%	7

※中部の基幹定数は小児科定数と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

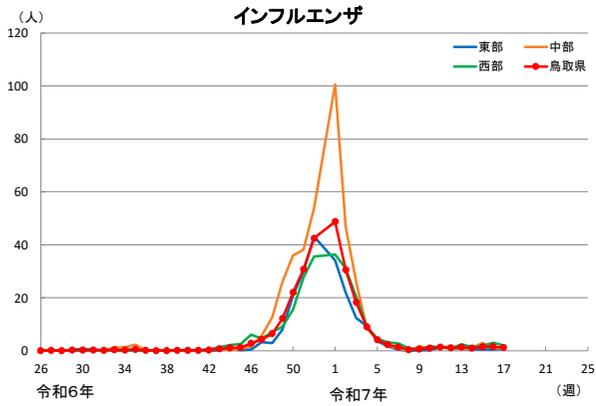
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	2,365	996	1,729	5,090	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,090

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。
※週報第15週から第17週の報告(3週分)

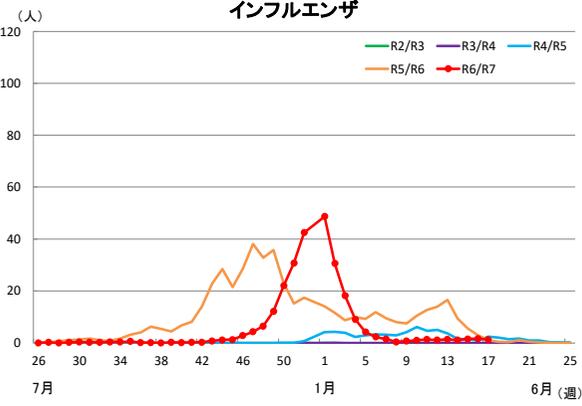
合 計	3,067	1,289	2,204	6,560	5,018	639	367	536	1,542	616	341	762	1,719	325%	14,891
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	------	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定数」は「急性呼吸器感染症(ARI)定数」に変更されました。

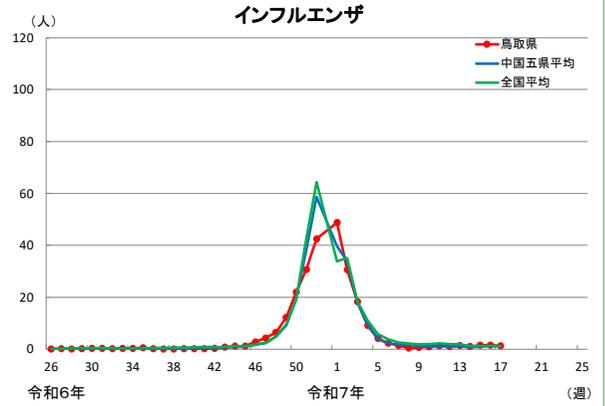
地区別発生状況(定点当たり)



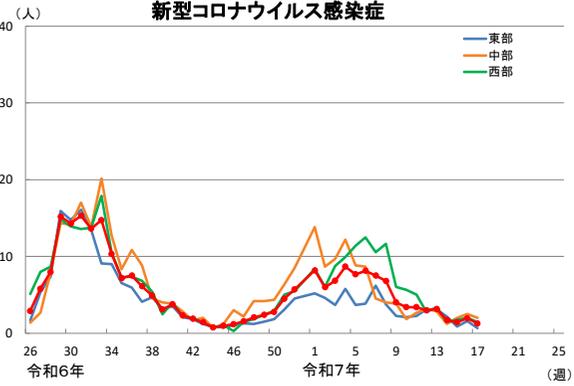
年次別発生状況(定点当たり)



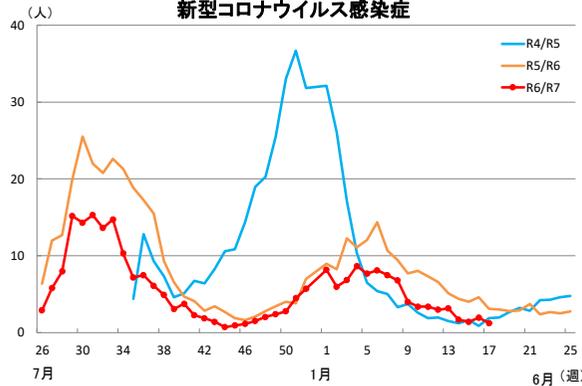
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



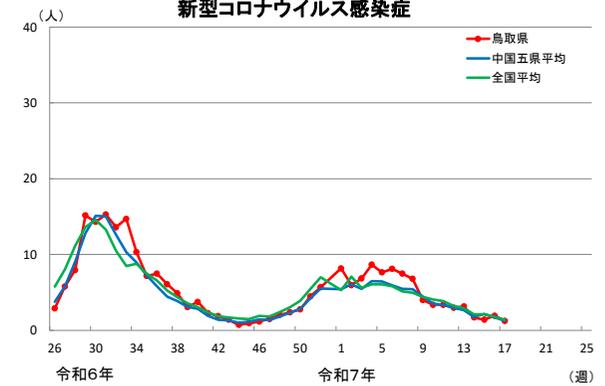
新型コロナウイルス感染症



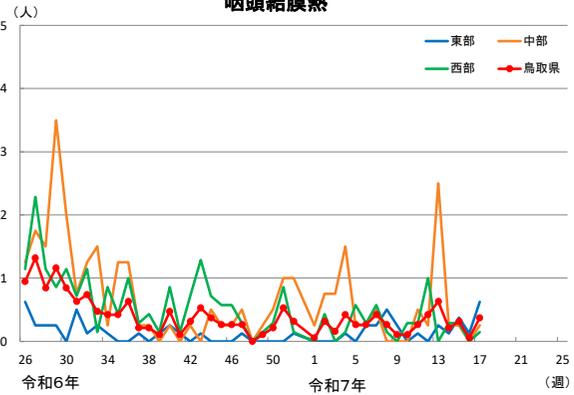
新型コロナウイルス感染症



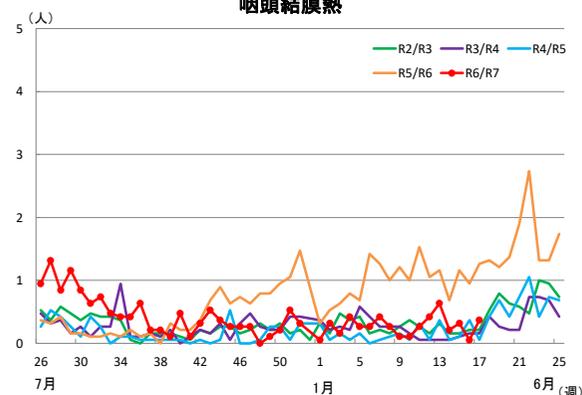
新型コロナウイルス感染症



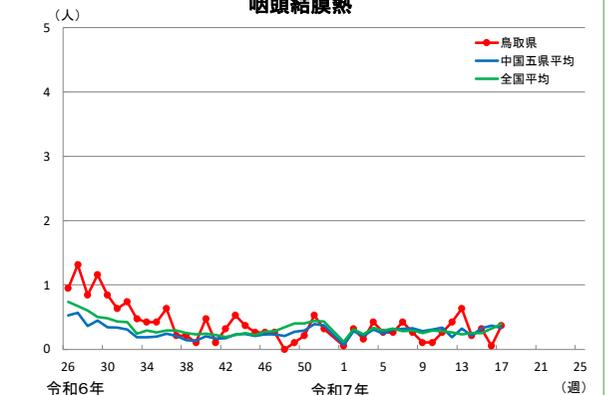
咽頭結膜熱



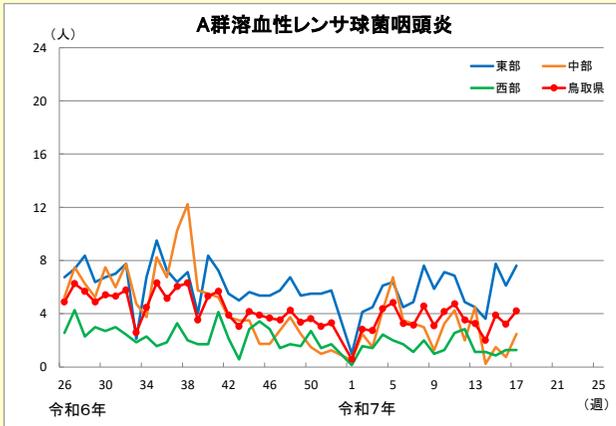
咽頭結膜熱



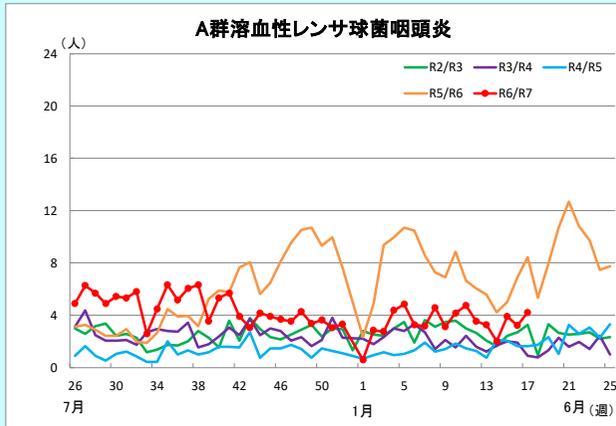
咽頭結膜熱



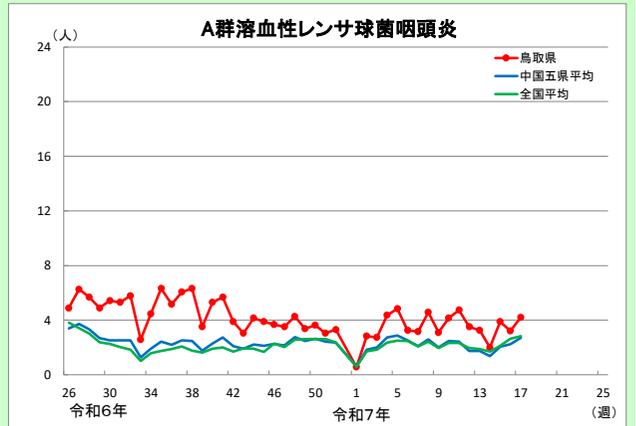
地区別発生状況(定点当たり)



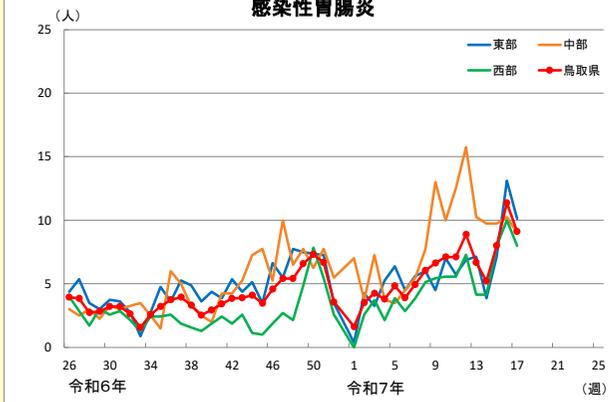
年次別発生状況(定点当たり)



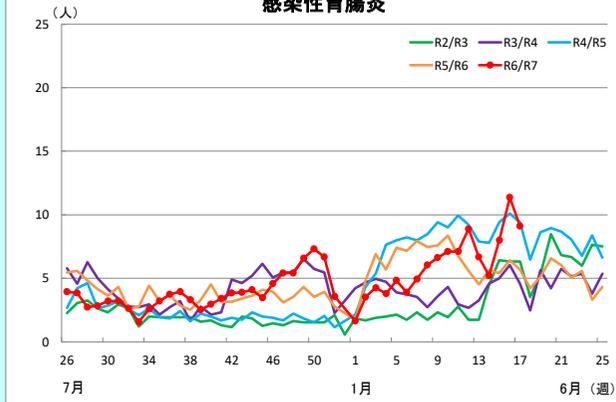
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



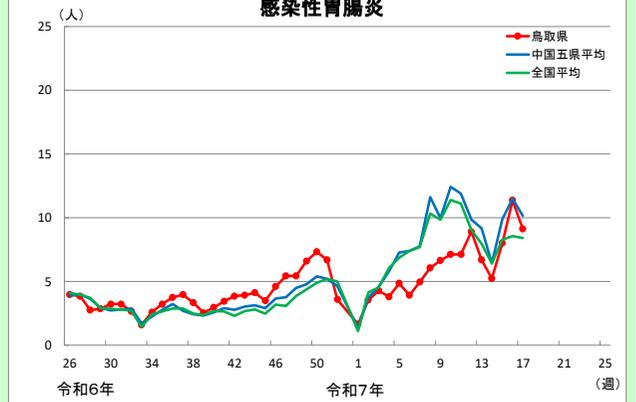
感染性胃腸炎



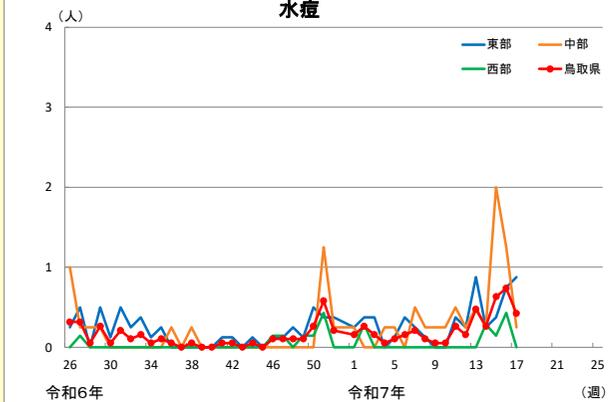
感染性胃腸炎



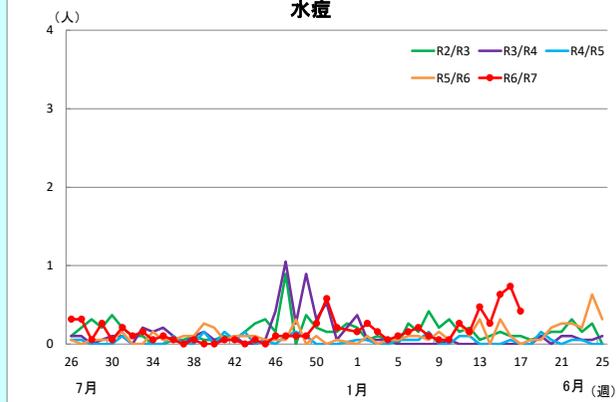
感染性胃腸炎



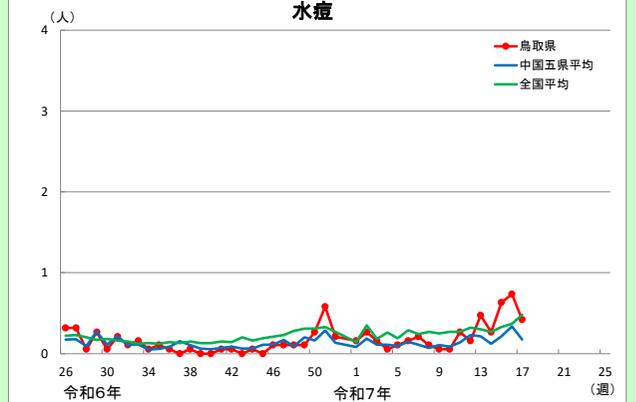
水痘



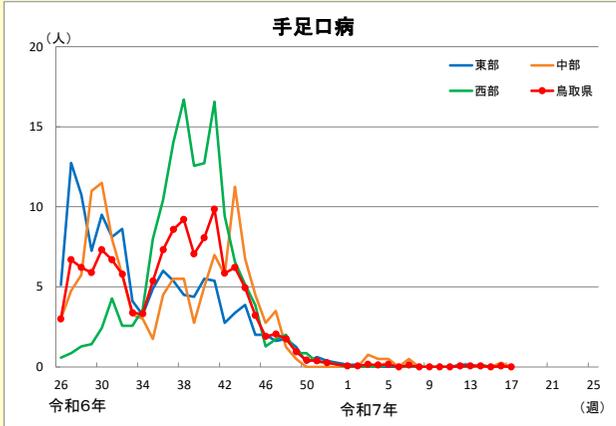
水痘



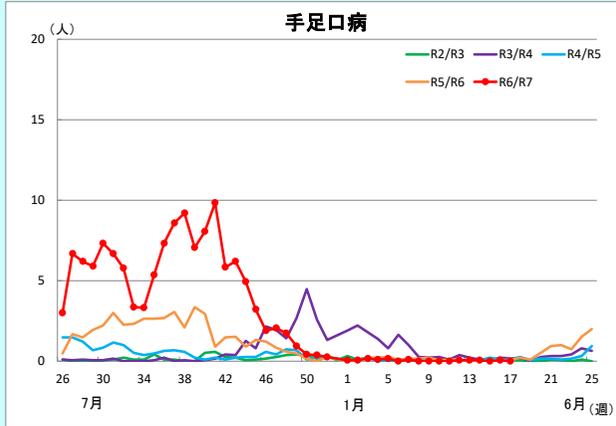
水痘



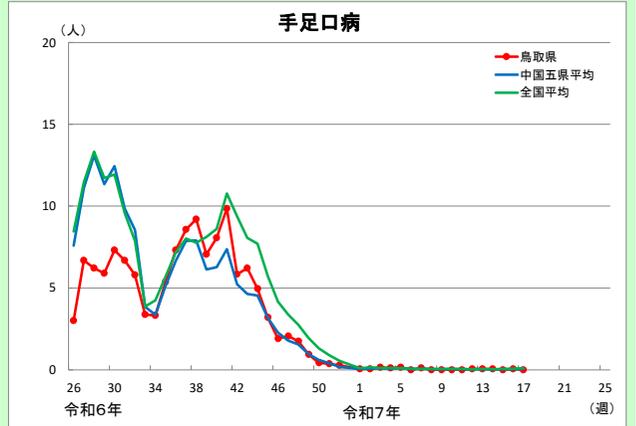
地区別発生状況(定点当たり)



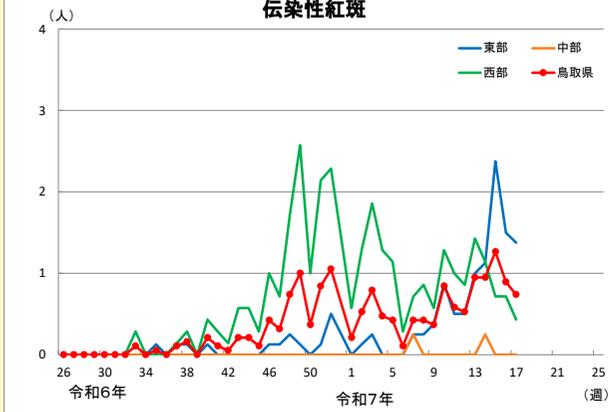
年次別発生状況(定点当たり)



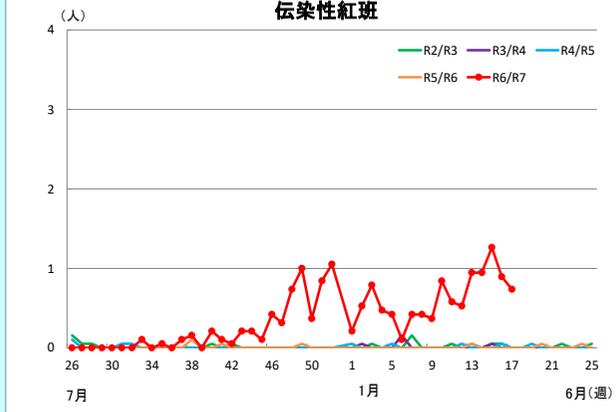
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



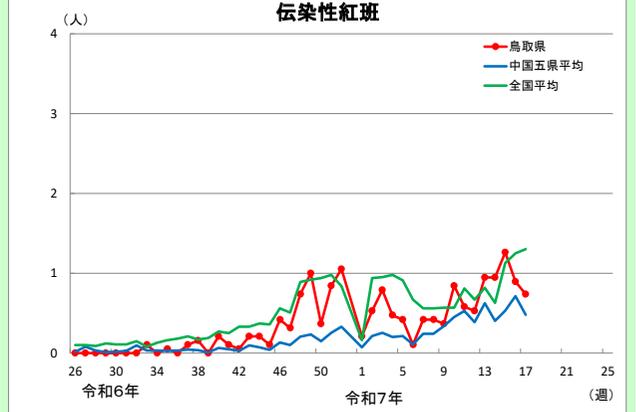
伝染性紅斑



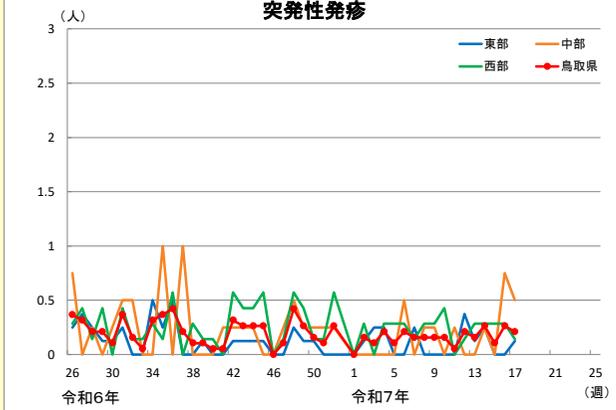
伝染性紅斑



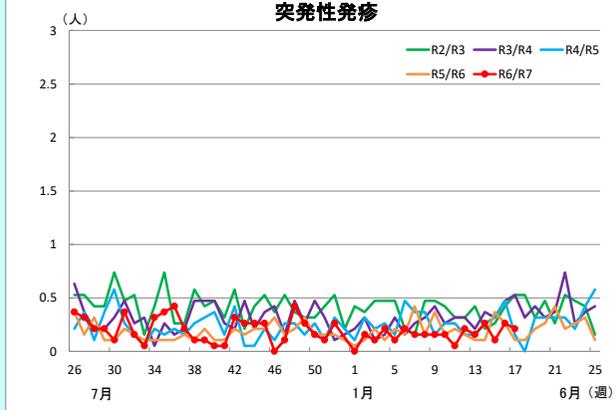
伝染性紅斑



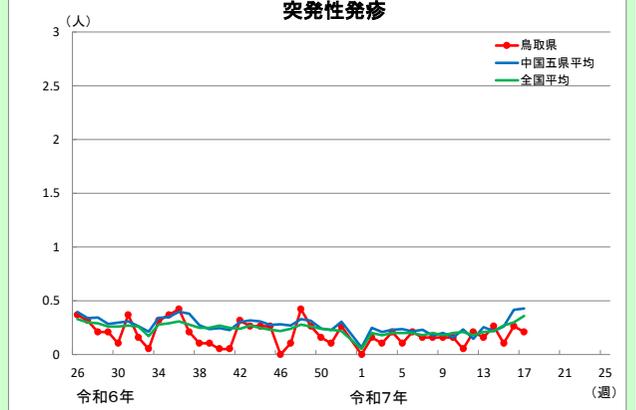
突発性発疹



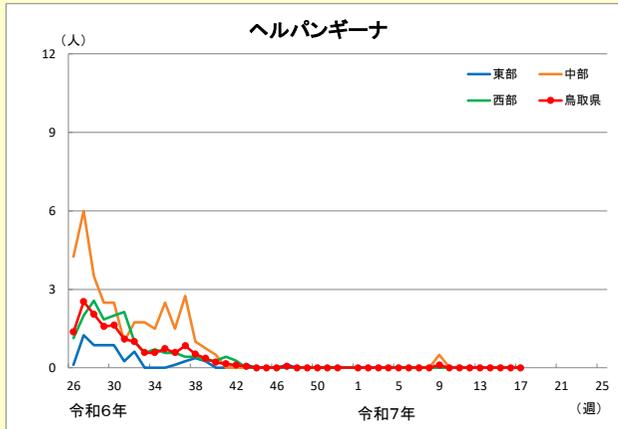
突発性発疹



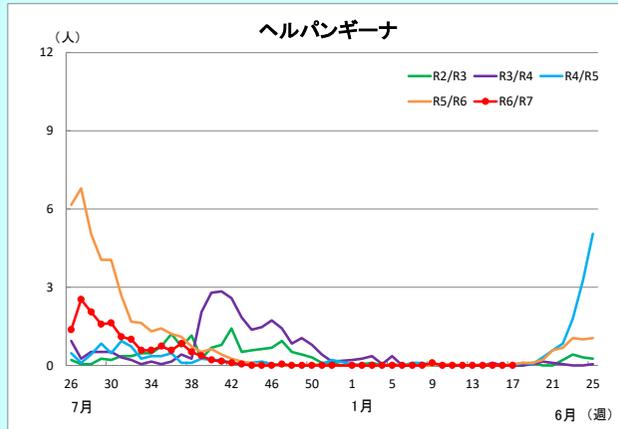
突発性発疹



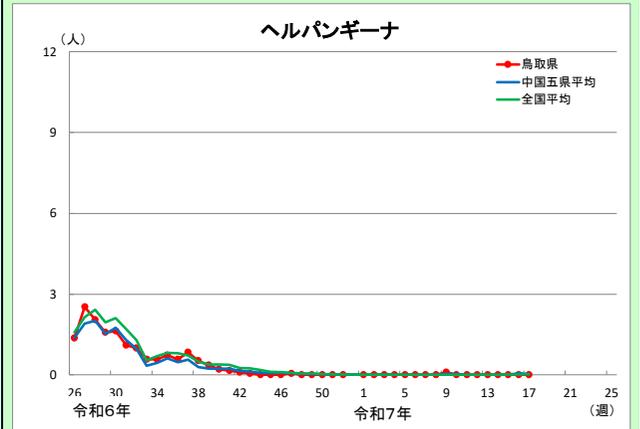
地区別発生状況(定点当たり)



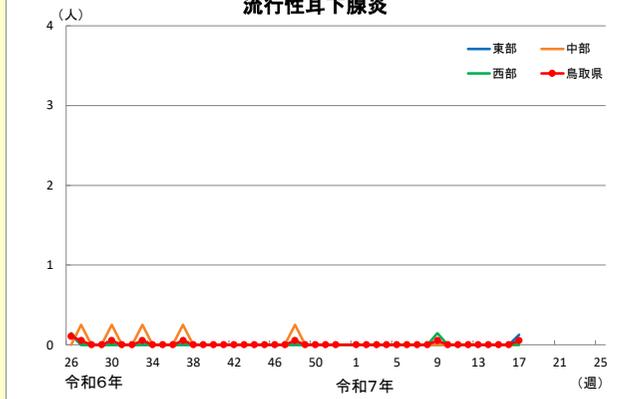
年次別発生状況(定点当たり)



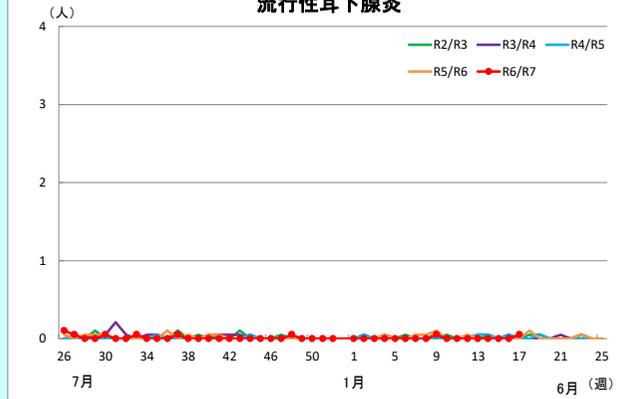
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



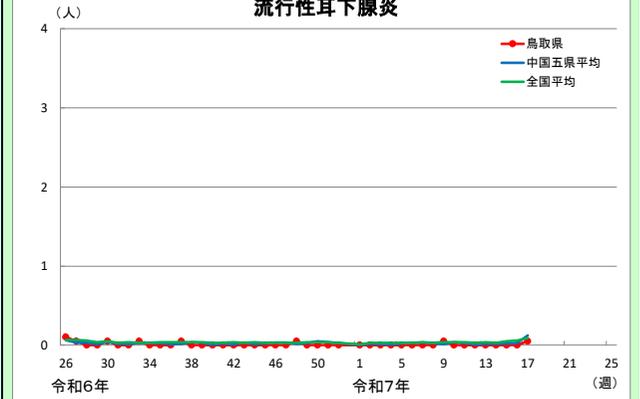
流行性耳下腺炎



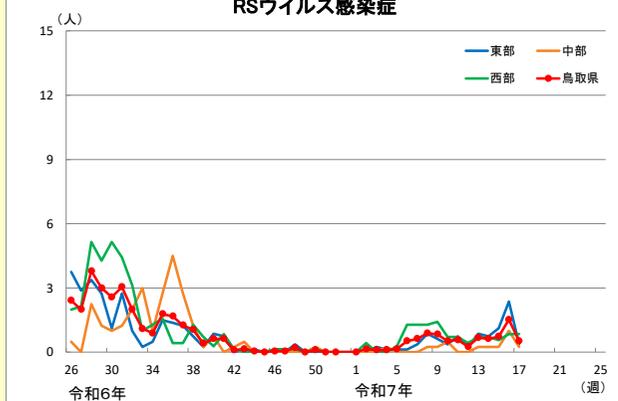
流行性耳下腺炎



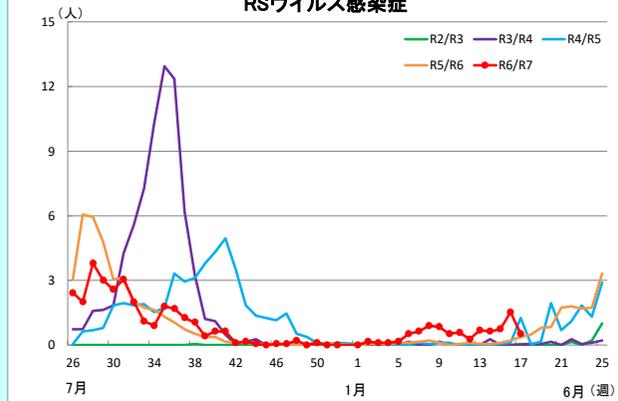
流行性耳下腺炎



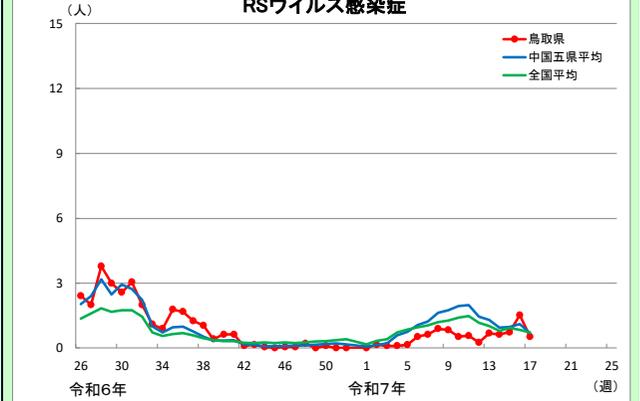
RSウイルス感染症



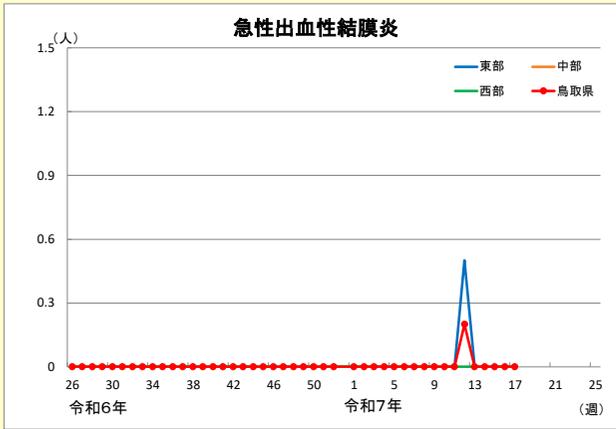
RSウイルス感染症



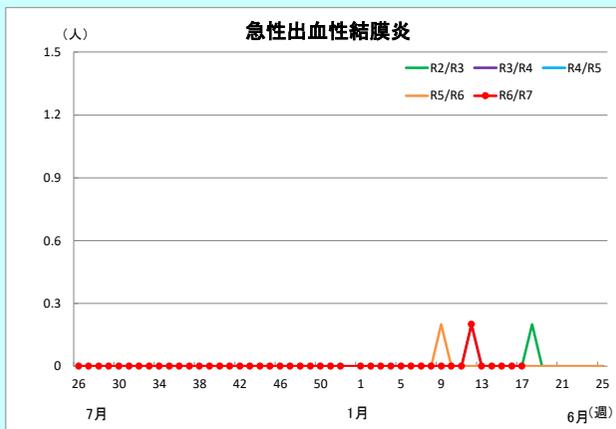
RSウイルス感染症



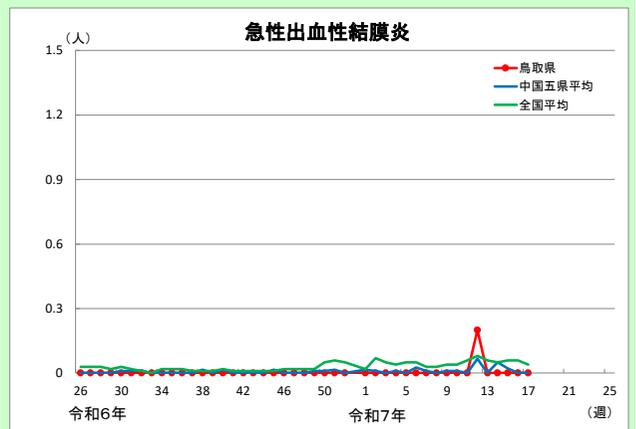
地区別発生状況(定点当たり)



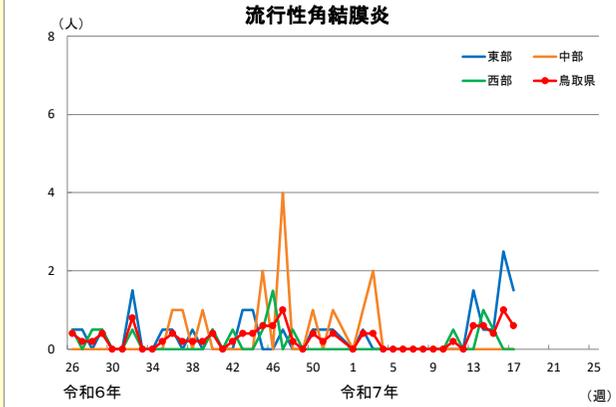
年次別発生状況(定点当たり)



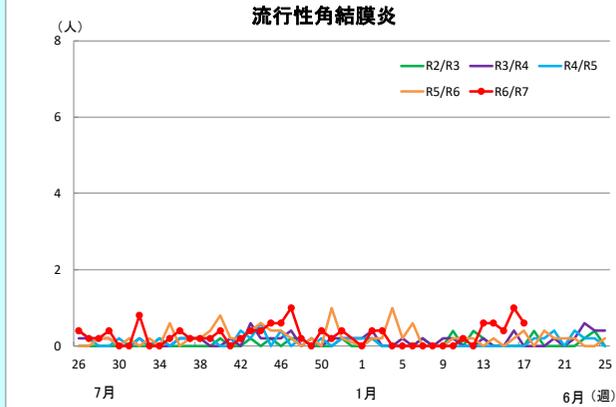
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



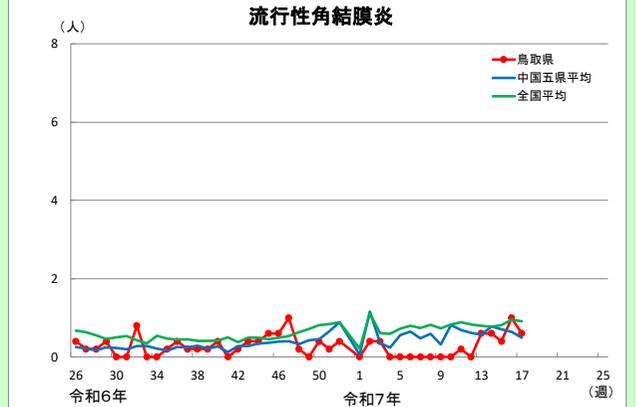
流行性角結膜炎



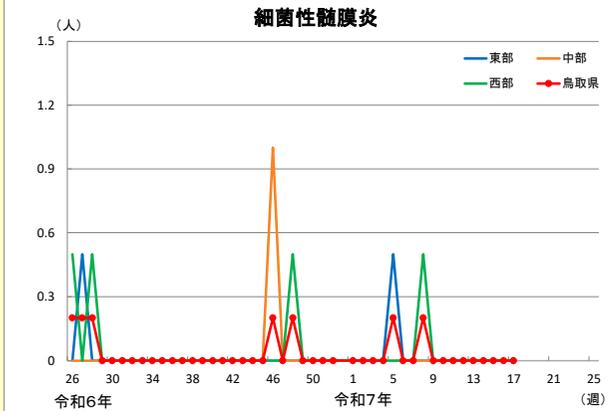
流行性角結膜炎



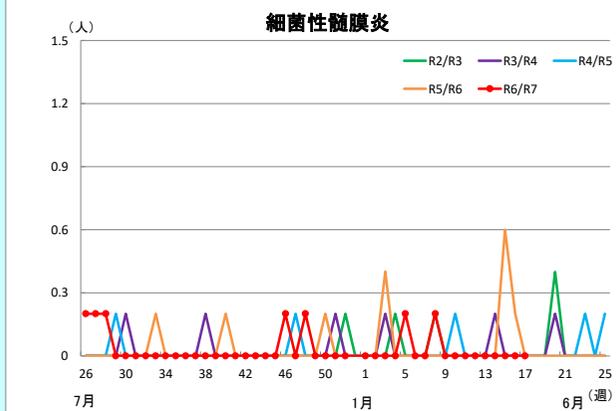
流行性角結膜炎



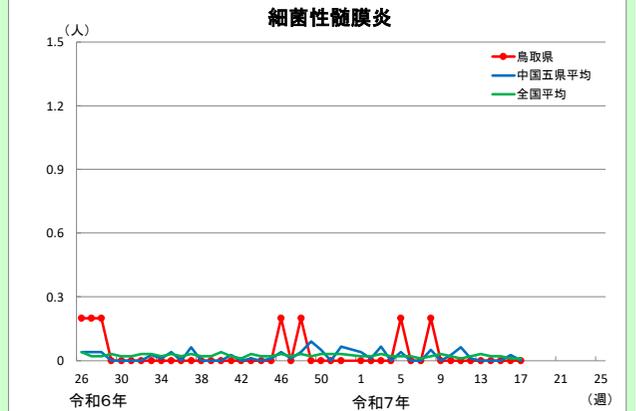
細菌性髄膜炎



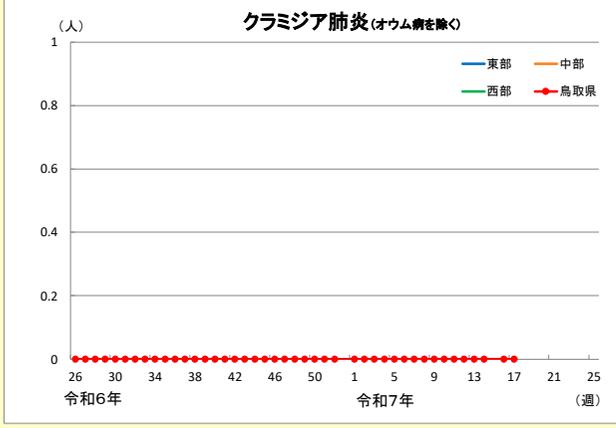
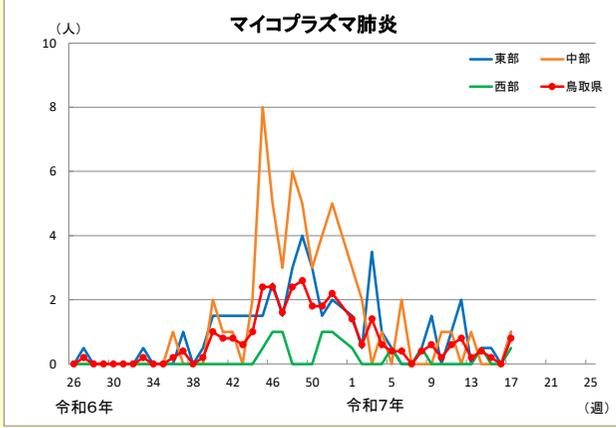
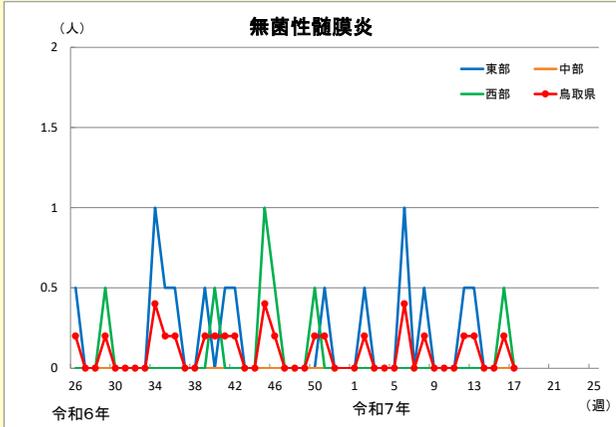
細菌性髄膜炎



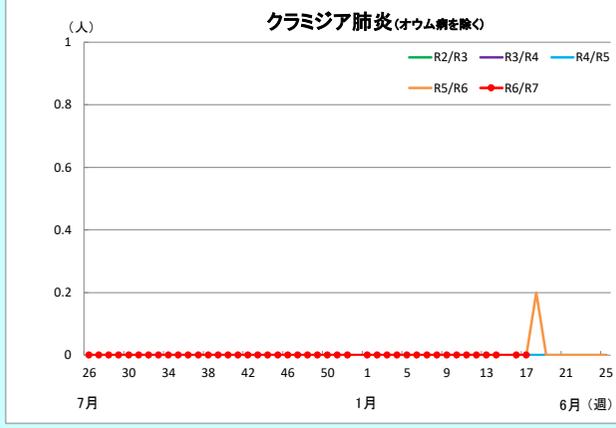
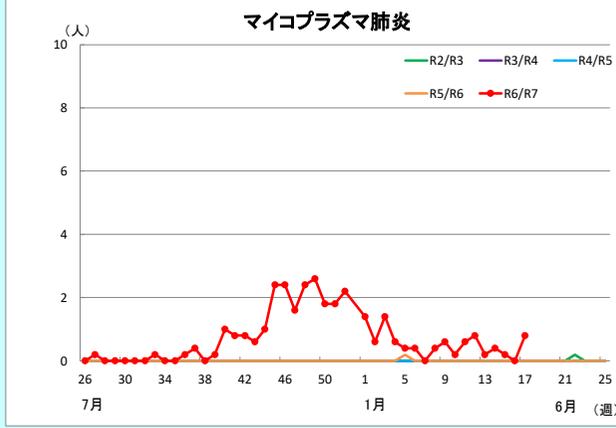
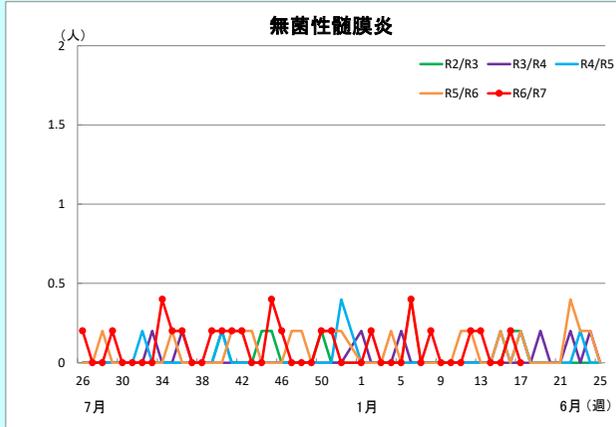
細菌性髄膜炎



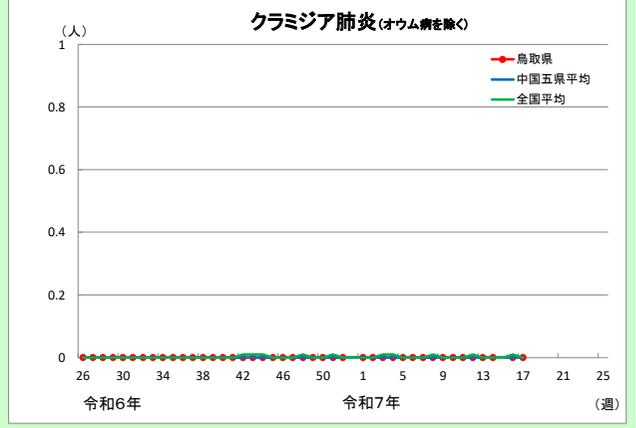
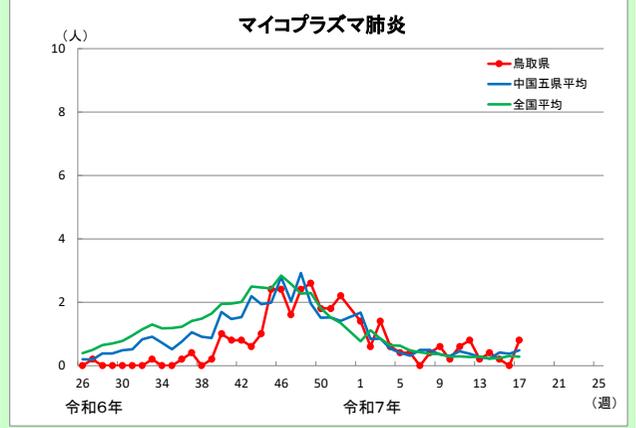
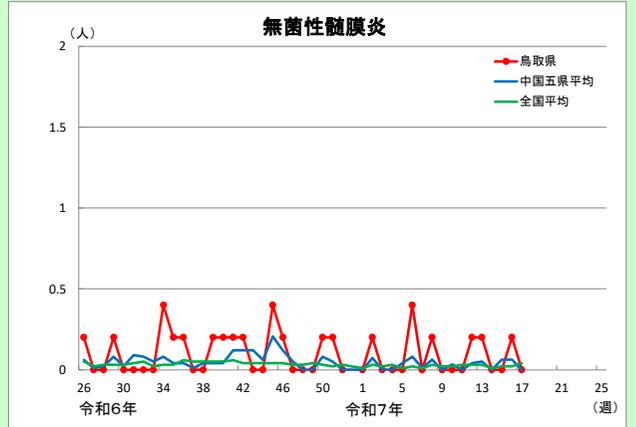
地区別発生状況(定点当たり)



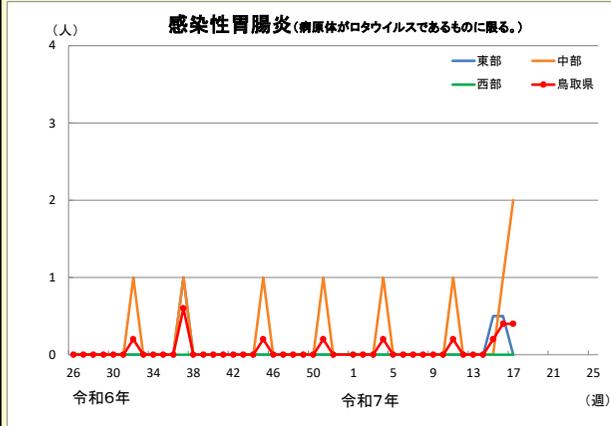
年次別発生状況(定点当たり)



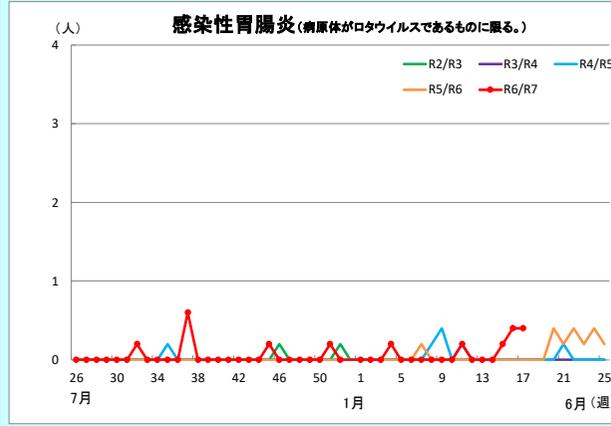
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



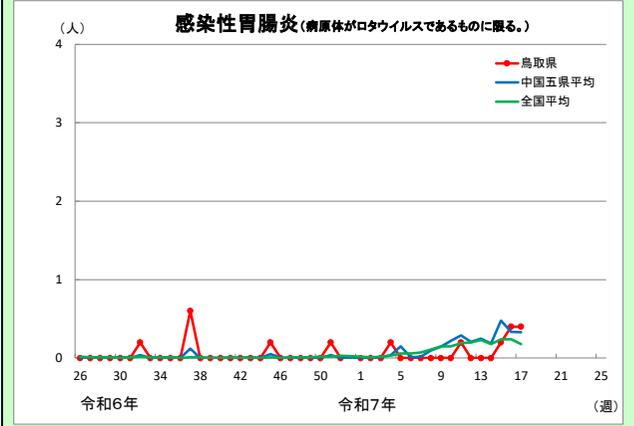
地区別発生状況(定点当たり)



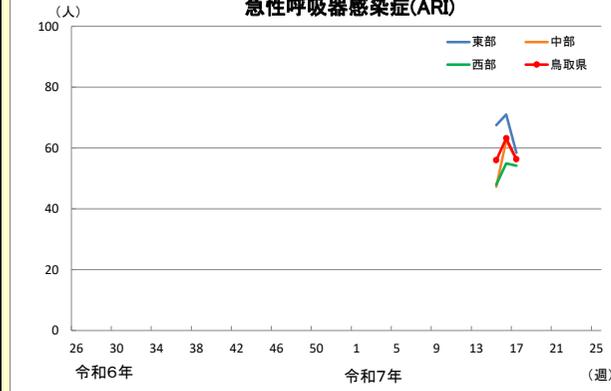
年次別発生状況(定点当たり)



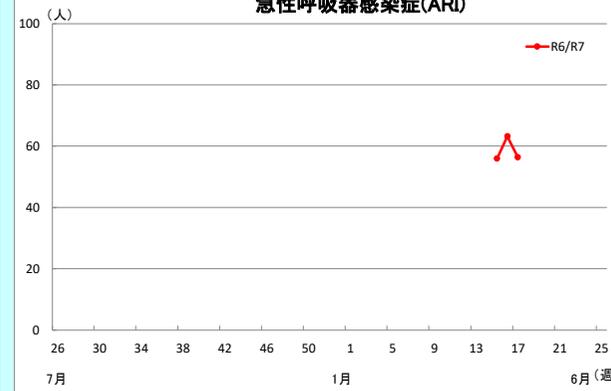
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



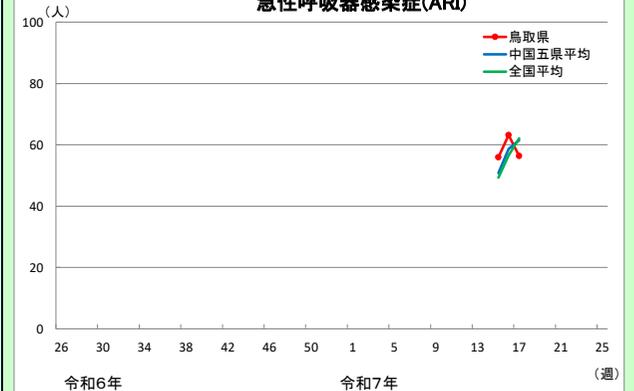
急性呼吸器感染症(ARI)



急性呼吸器感染症(ARI)



急性呼吸器感染症(ARI)



注) 新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

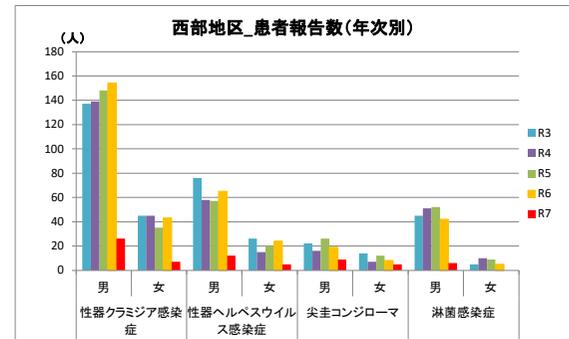
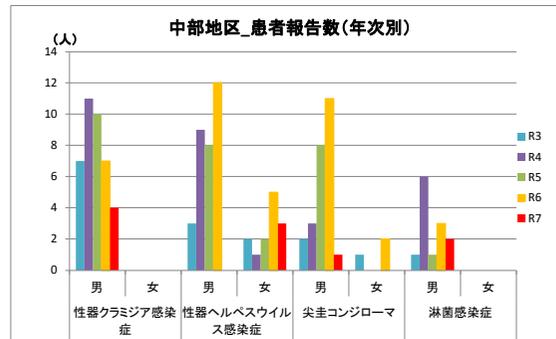
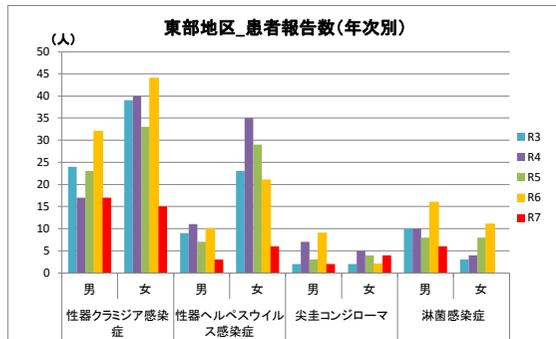
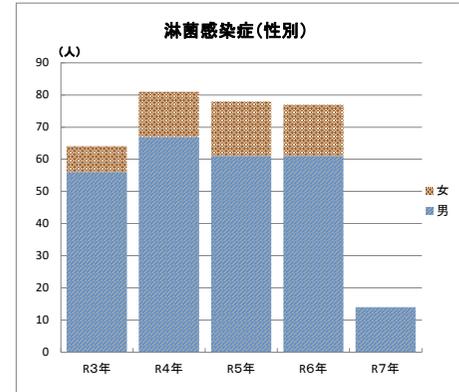
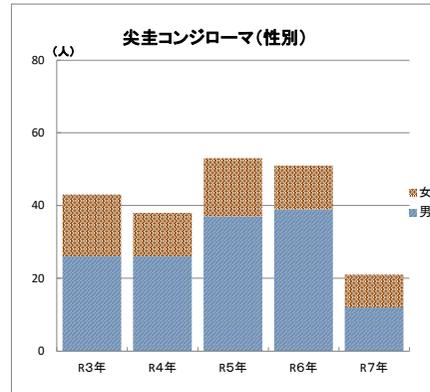
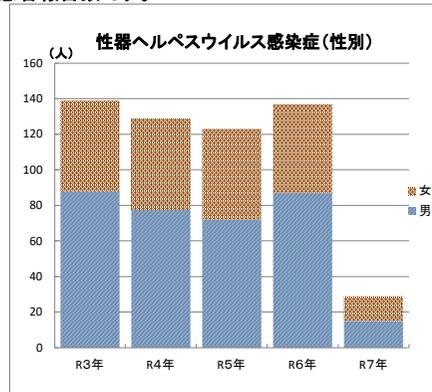
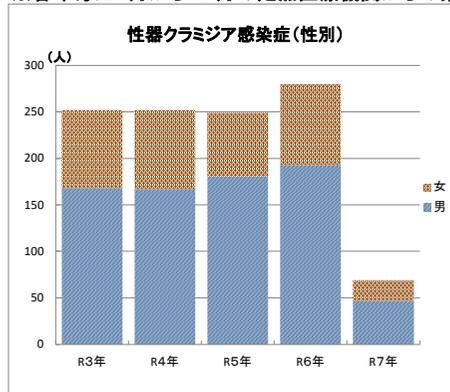
令和6年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1~12月計			対前年累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	6	15	10	11	21	27	10	37	14	8	22	16	5	21	16	5	21	21	12	33	27	5	32	15	5	20	10	10	20	16	7	23	12	3	15	193	87	280	107%	128%	112%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	6	13	5	2	7	10	4	14	6	3	9	7	3	10	6	6	12	7	3	10	15	7	22	7	4	11	8	7	15	3	2	5	6	3	9	87	50	137	121%	98%	111%
D	尖圭コンジローマ	7	0	7	5	2	7	2	1	3	2	3	5	3	1	4	3	2	5	2	0	2	2	0	2	6	0	6	2	2	4	0	1	1	5	0	5	39	12	51	105%	75%	96%
7	淋菌感染症	5	3	8	11	3	14	2	1	3	8	1	9	7	2	9	7	0	7	8	1	9	5	2	7	3	0	3	1	1	2	1	1	2	3	1	4	61	16	77	100%	94%	99%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7	1	8	4	2	6	8	6	14	10	2	12	4	3	7	4	4	8	4	3	7	2	1	3	4	2	6	8	1	9	9	4	13	4	6	10	68	35	103	103%	83%	95%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	8	0	8	133%	0%	80%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%	—	100%

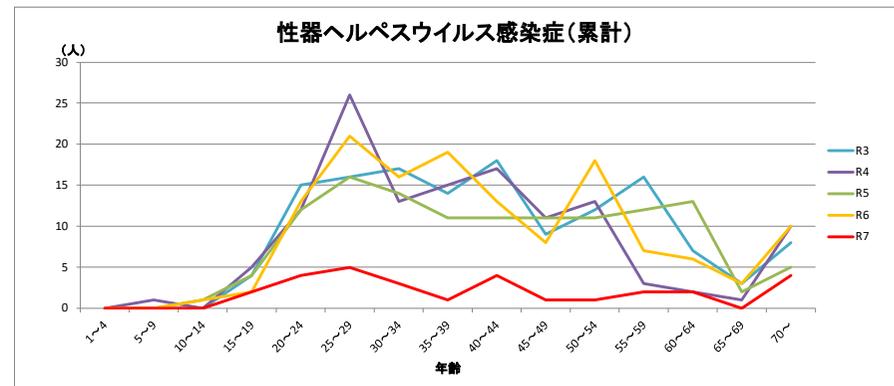
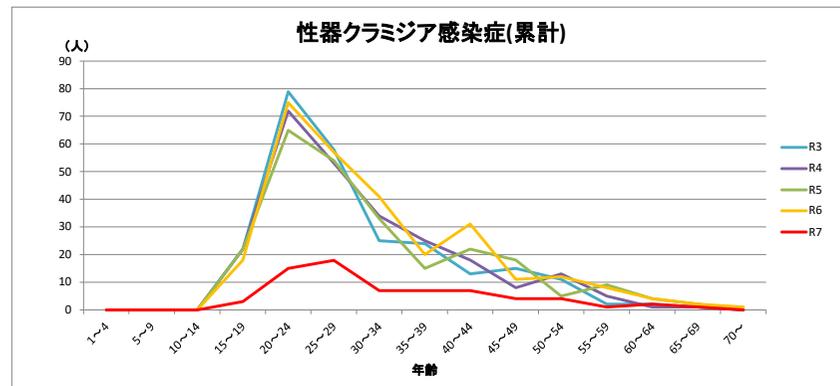
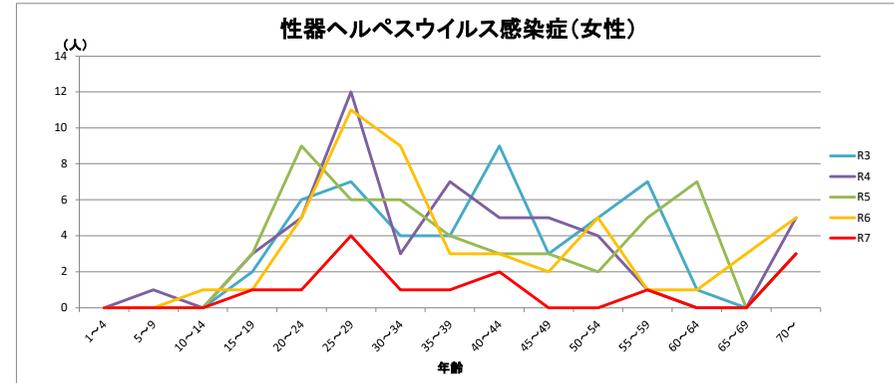
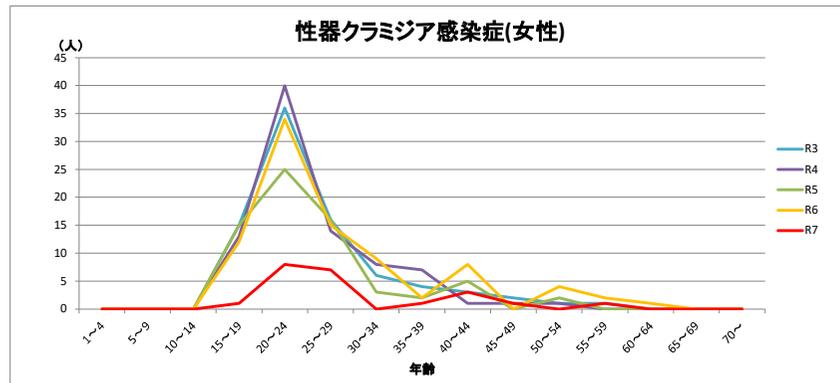
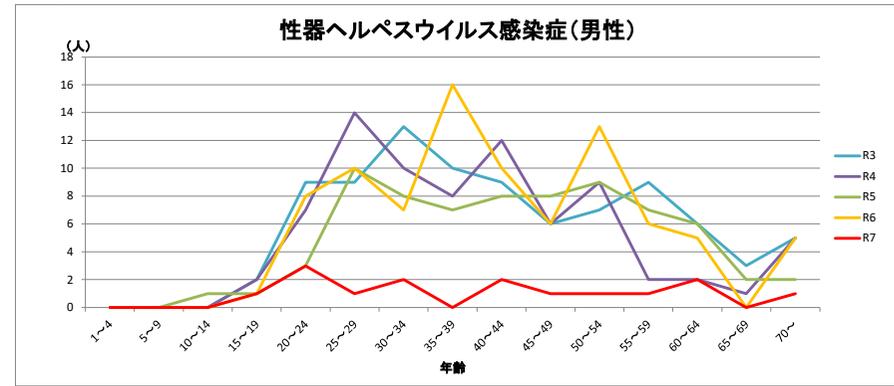
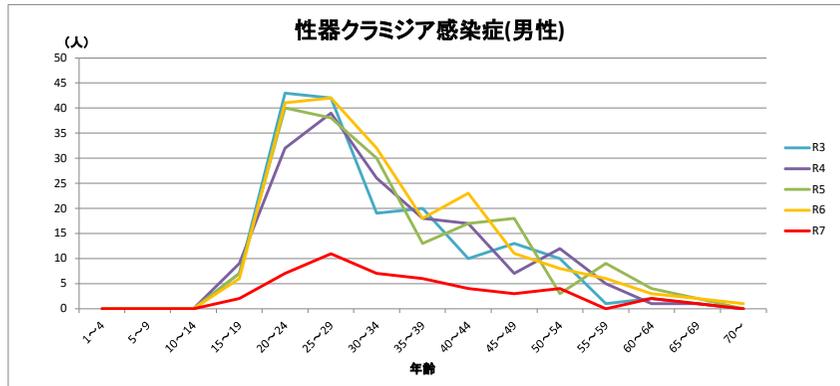
令和7年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			4月計			対前年4月末累計比率					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19																												47	22	69	78%	63%	73%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7																												15	14	29	54%	93%	67%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8																												12	9	21	75%	150%	95%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2																												14	0	14	54%	0%	41%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11																												25	17	42	86%	155%	105%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0																												3	1	4	—	—	—
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																												0	0	0	0%	—	0%

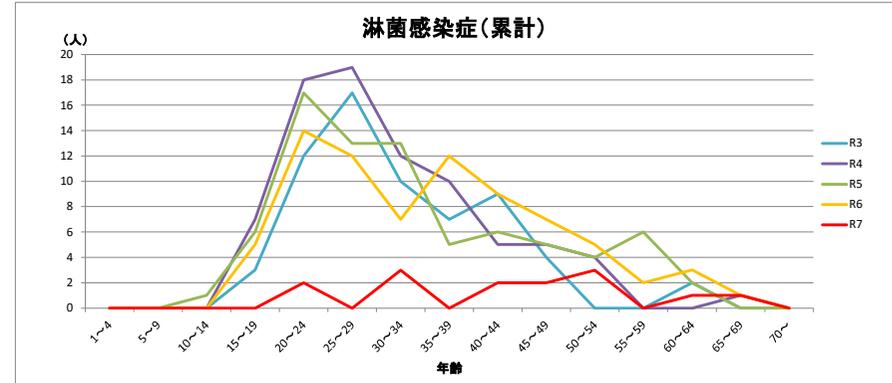
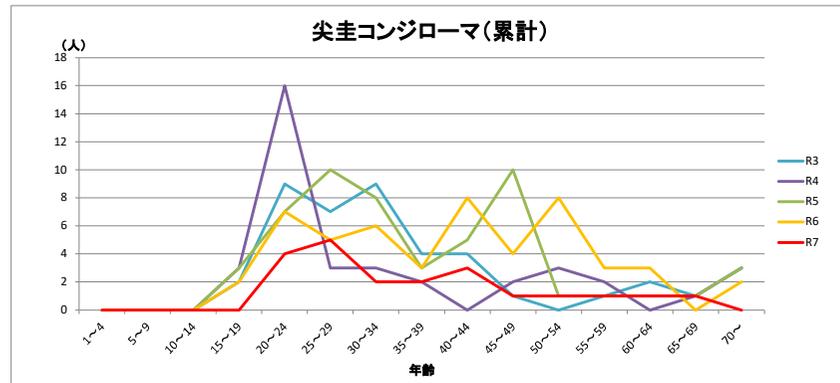
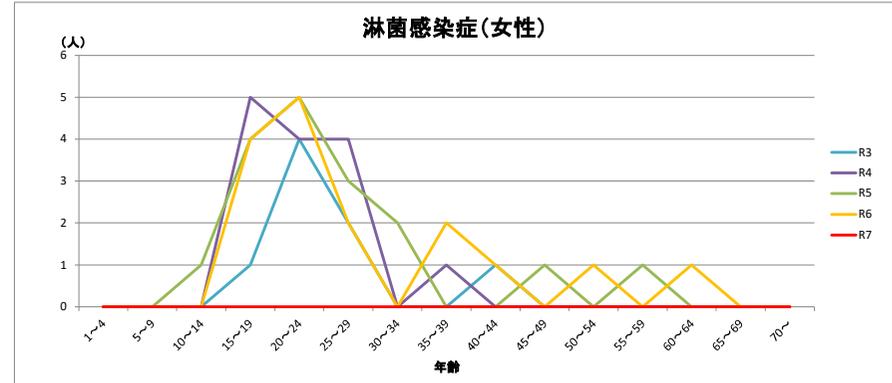
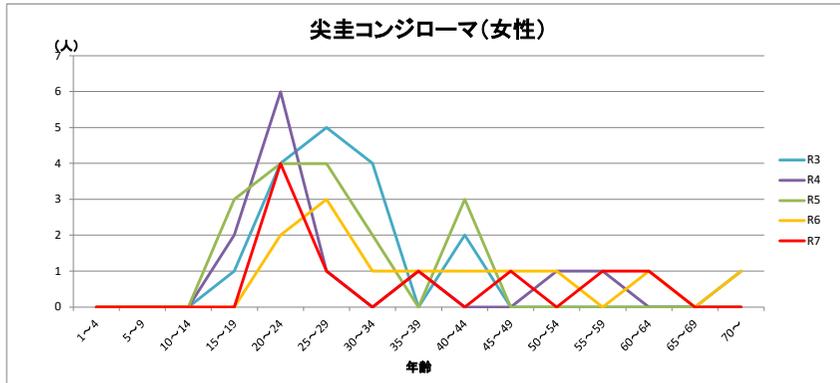
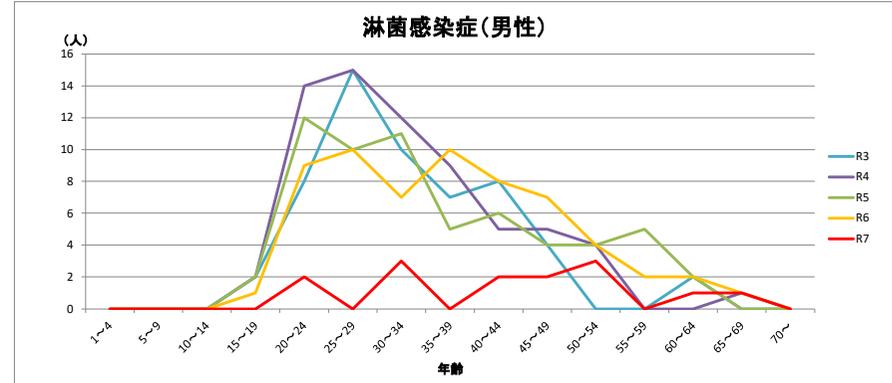
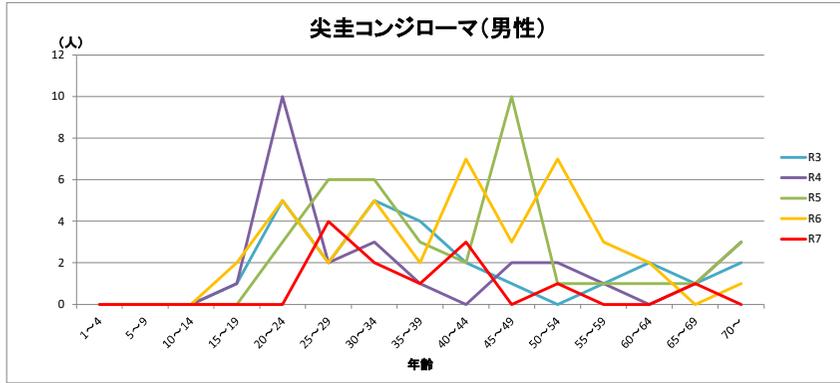
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



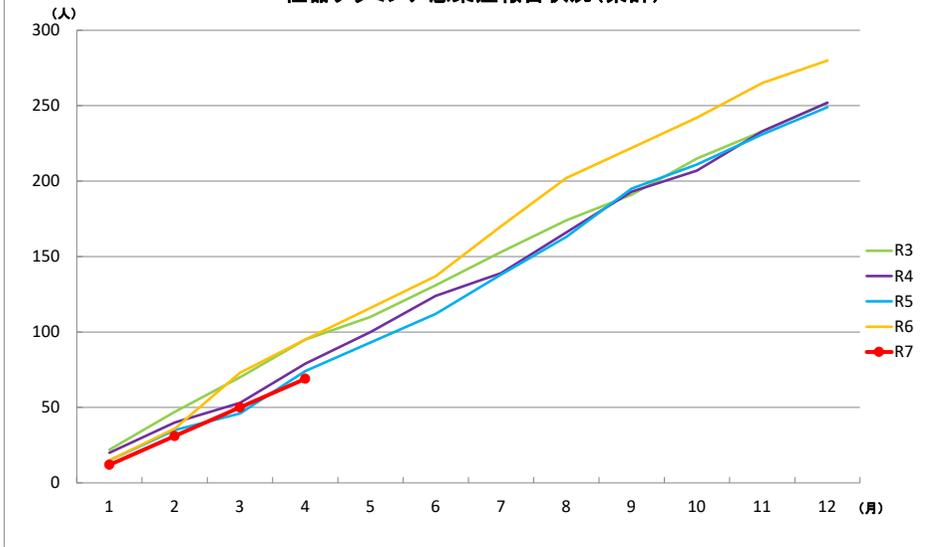
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



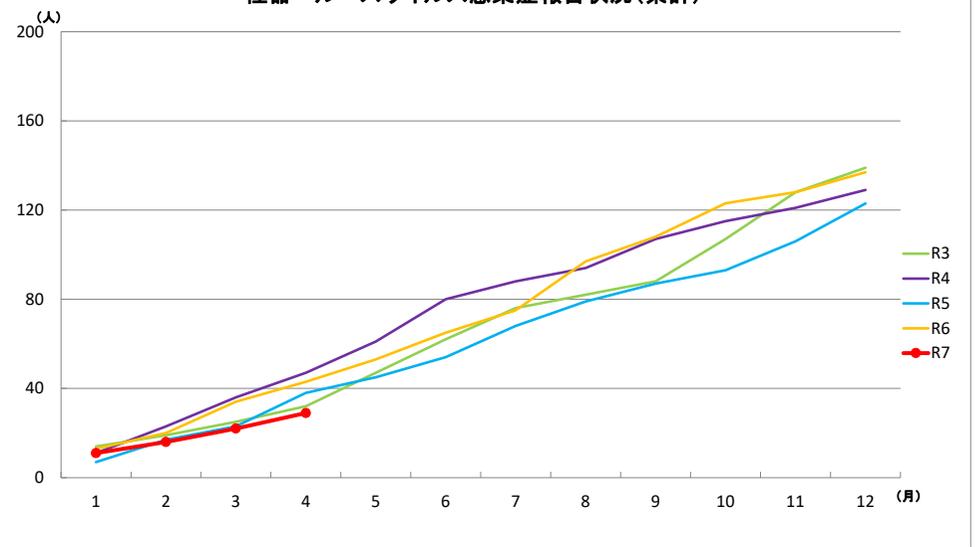
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



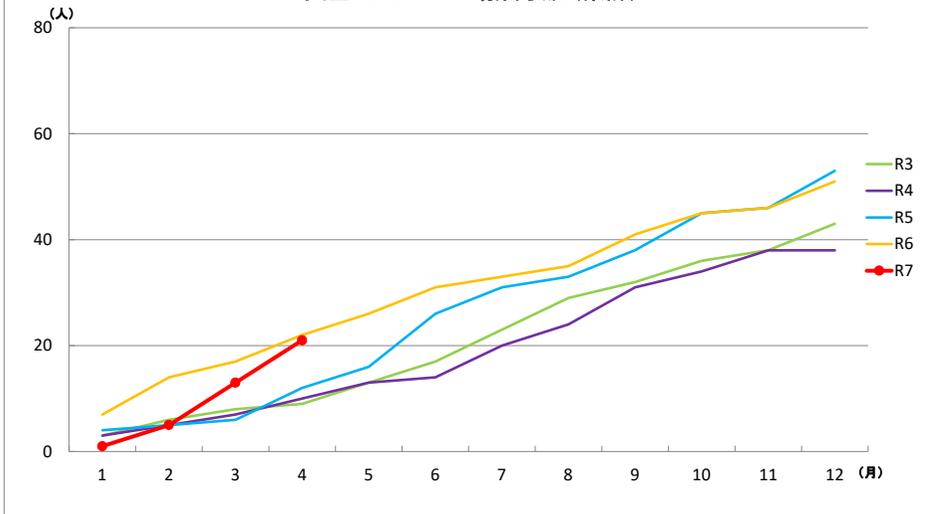
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



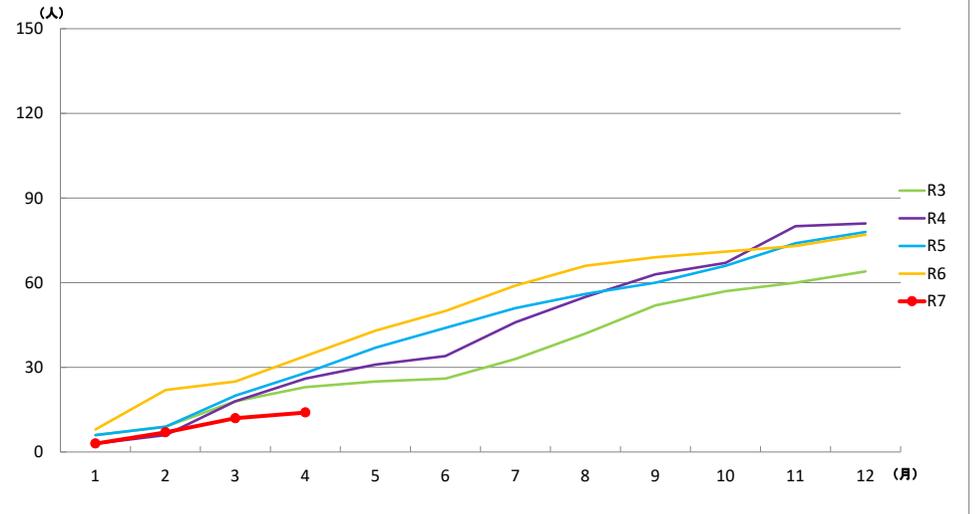
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

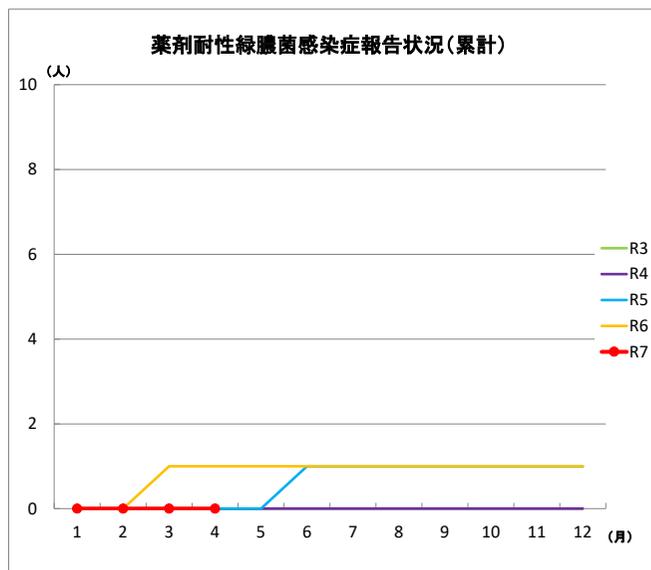
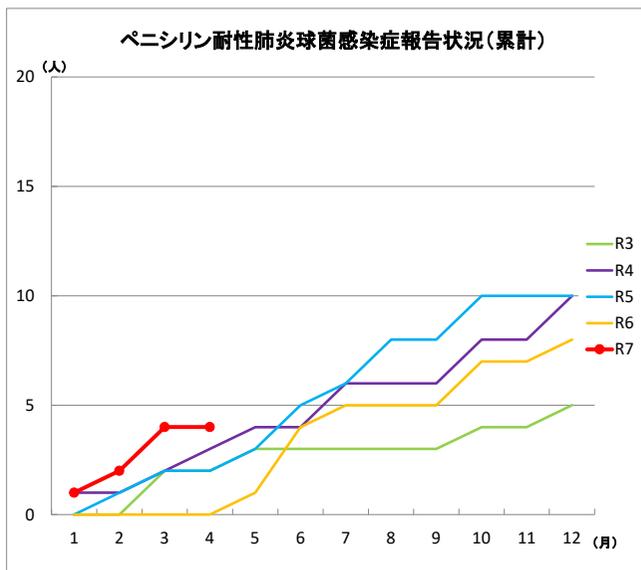
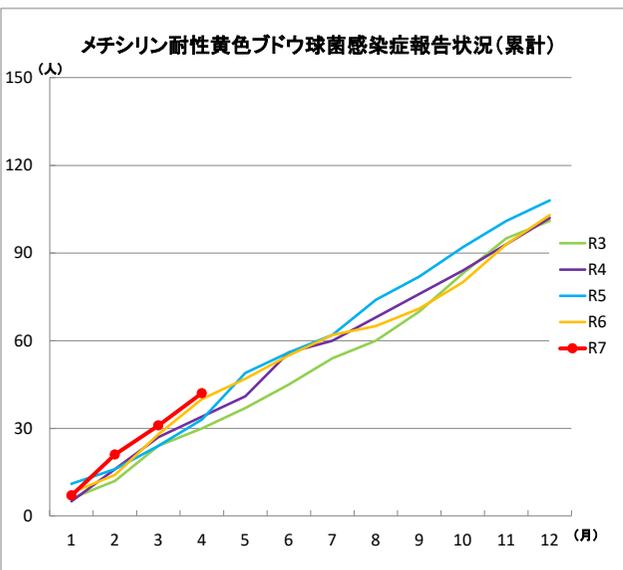
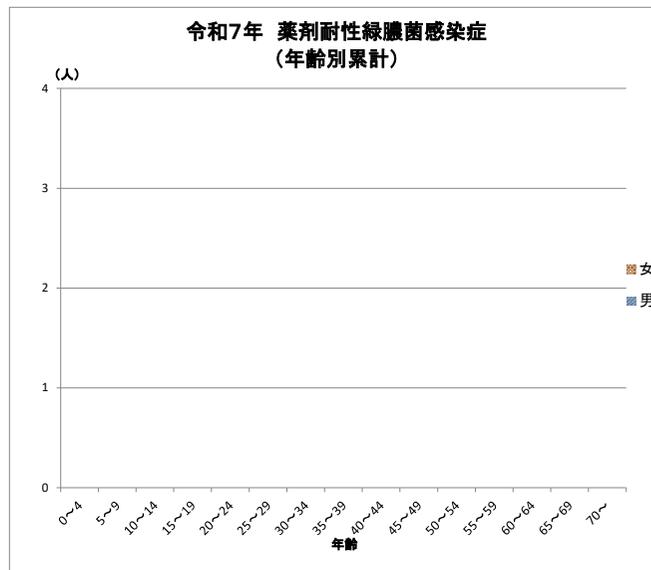
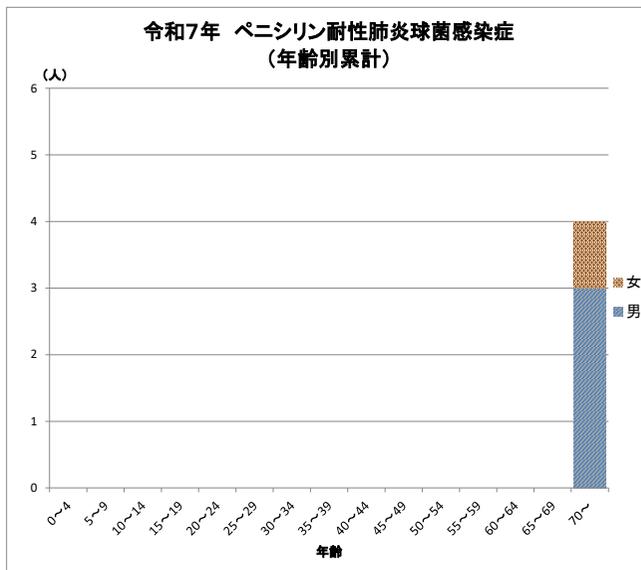
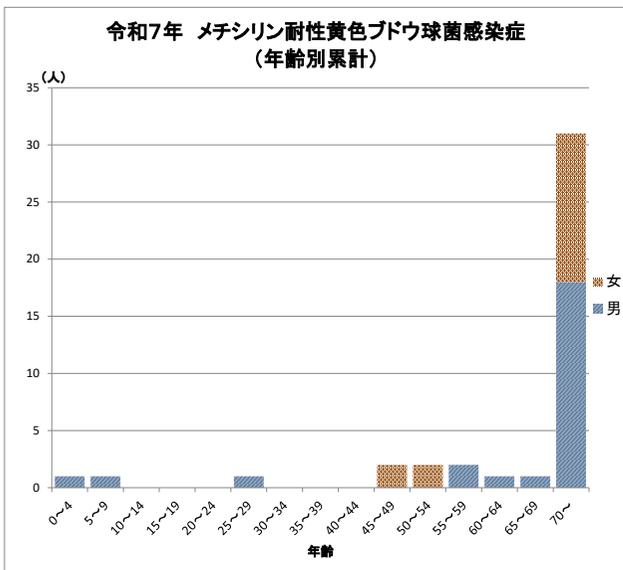


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和7年)

令和7年4月30日 現在
※()は前年数値

(1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計						
													4月時点	年間					
急性灰白髄炎														0	(0)	(0)			
結核	3	(3)	3	(2)	3	(5)	4	(6)	(3)	(6)	(1)	(7)	(5)	(2)	(5)	(5)	13	(16)	(50)
潜在性結核 ※再掲		(1)			(2)	1	(2)	(1)	(2)	(1)				(3)	(1)		1	(5)	(13)
疑似症患者 ※再掲																	0	(0)	(0)
ジフテリア																	0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群																	0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群																	0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)																	0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)																	0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													4月時点	年間		
コレラ														0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲														0	(0)	(0)
細菌性赤痢														0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症			(1)	(1)		(5)	(2)	(1)	(3)	(1)	(3)	(3)	(1)	0	(2)	(21)
腸チフス														0	(0)	(0)
パラチフス														0	(0)	(0)

(3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													4月時点	年間		
マラリア														0	(0)	(0)
E型肝炎														0	(0)	(0)
A型肝炎									(1)			(1)		0	(0)	(2)
つつが虫病	1										(1)			1	(0)	(1)
日本紅斑熱					(1)		(1)	(2)	(2)	(2)				0	(0)	(8)
重症熱性血小板減少症候群						(1)			(1)					0	(0)	(2)
レジオネラ症	1	2	1	1	(2)	(1)	(1)		(1)	(1)	(2)	(1)		5	(0)	(9)
レプトスピラ症														0	(0)	(0)
デング熱														0	(0)	(0)
チクングニア熱														0	(0)	(0)

(4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計						
													4月時点	年間					
アメーバ赤痢				(1)			(1)			(1)	(2)			0	(1)	(5)			
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)		1							(1)					1	(0)	(1)			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)														0	(0)	(0)			
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1	(1)	1	1	(1)					(1)		(3)		3	(2)	(6)			
クリプトスポリジウム症														0	(0)	(0)			
クロイツフェルト・ヤコブ病			(1)											0	(1)	(1)			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	(3)	1	(2)	(1)			(1)		(3)	(1)			2	(5)	(11)			
後天性免疫不全症候群									(1)					0	(0)	(1)			
無症候性キャリア ※再掲														0	(0)	(0)			
AIDS ※再掲									(1)					0	(0)	(1)			
侵襲性インフルエンザ菌感染症			(1)			(1)					(1)			0	(1)	(3)			
侵襲性髄膜炎菌感染症														0	(0)	(0)			
侵襲性肺炎球菌感染症	5	(1)	1	(2)	(3)	(3)		(1)		(1)	(1)	(1)		7	(6)	(13)			
水痘(入院例に限る。)					(1)		(1)							0	(0)	(2)			
梅毒	9	(2)	2	(5)	2	(1)	3	(2)	(2)	(5)	(7)	(6)	(2)	(5)	(2)	(2)	16	(10)	(41)
播種性クリプトコックス症	1	1	1	(1)										3	(1)	(1)			
破傷風								(1)						0	(0)	(1)			
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	(0)	(0)			
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				(1)	(2)				(1)					0	(1)	(4)			
ジアルジア症														0	(0)	(0)			
百日咳	28	(5)	44	(6)	74	(2)	120	(1)	(1)	(7)	(37)	(55)	(54)	(113)	(59)	(43)	266	(14)	(383)
麻疹														0	(0)	(0)			
風しん														0	(0)	(0)			

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
													4月時点	年間
令和7年													0 (0)	0 (0)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1	2 (0)	21 (6)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	0 (0)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	2 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						5 (3)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	1 (0)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)	2 (1)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			0 (0)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)	2 (1)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)	0 (0)	16 (7)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和7年													0 (0)
令和6年		1		2 (2)		2				1 (1)	13 (1)	2 (2)	21 (6)
令和5年		1 (1)									17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年					3					2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)					1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)	3 (1)	1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)	4 (1)					15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年		2			3				1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)	4 (3)				1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)									14 (5)	1 (1)	16 (7)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和7年												0 (0)
令和6年	3	3	1	3 (2)	5 (1)		2 (1)	1 (1)	2 (1)	1		21 (6)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和7年				0 (0)
令和6年	2 (1)	6	13 (5)	21 (6)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)
平成28年	2 (1)	12 (5)	2 (1)	16 (7)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年4月検出分 検体採取 令和7年3月及び4月)

令和7年5月16日

鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体27件(検体採取4月上旬・中旬)について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

検査対象(ウイルス)

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、COVID-19、エンテロ、アデノ

検査対象(細菌)

百日咳菌、*Bordetella holmesii*

患者年齢

0才から86才

検出結果

27件中20検体(74%)から以下の病原体が検出された。年齢層としては1-4才の幼児が多かった。ライノウイルスが11検体と最も多く検出されたが、このうち5検体は他の病原体(RSウイルス、メタニューモウイルスなど)と重複していた。ライノウイルスの感染は、顕性感染の率がメタニューモウイルス、RSウイルスなどより高く約半数が無症状との報告があり[1]、重複していた場合、他のウイルスが病因である可能性も考えられた。

病原体	年齢別検出数						合計 (n=27)	ARI (n=27) に おける割合
	0 (n=3)	1-4 (n=10)	5-9 (n=7)	10-14 (n=0)	15-19 (n=0)	20- (n=7)		
ライノ	1 (1)	5 (3)	3			2	11 41%	
メタニューモ	1 (1)	3 (1)				2 (1)	6 22%	
RS-B		3 (1)	1				4 15%	
ボカ		3 (3)				1 (1)	4 15%	
パラインフルエンザ4		1 (1)					1 4%	
COVID19			1				1 4%	
百日咳			1				1 4%	
検出せず	2		2			3	7 26%	

() 内は重複検出

【参考文献】

[1] Sarna M. et al. J Infect Dis. 2018 Jan 17;217(3):418-427.

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の5件について検査を行ったところ、5件すべてからノロウイルスが検出された。ノロウイルスの5件はすべてG2でGII.P16-GII.4が4件あり、RdRp（RNA-dependent RNA polymerase）領域とVP1領域の間で遺伝子の組換えがみられた。同時期に県内で多発していた食中毒で検出されていたGII.P17-GII.17は1件であった。また、サポウイルスが1件検出された。

3 A群溶連菌感染症

臨床診断名がA群溶連菌感染症の2件について検査を行ったところ、A群溶連菌1件が分離されT4型であった。全国的には2024年はT1型が約50%を占め多かったが、2025年は5月9日時点でT4型が33%を占め、最も多い（国立健康危機管理研究機構IASR速報グラフによる）。T型別は病原因子であるMタンパクの型別（emm型別）と密接に結びついており、T4型のemm型はほとんど4型であり、劇症型レンサ球菌症から分離される割合は1.3%（77/5,835、国立感染症研究所データ提供）と低い。

3 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の1件について検査を行ったところ、RSウイルスB型が検出された。

4 水痘

臨床診断名が水痘の1件について検査を行ったところ、水痘帯状疱疹ウイルスが検出された。

5 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の1件について検査を行ったところ、アデノウイルス37型が検出された。

6 急性出血性結膜炎、咽頭結膜熱

臨床診断名が急性出血性結膜炎、咽頭結膜熱の検体1件についてそれぞれエンテロウイルス、アデノウイルスについて検査したところ、ウイルスは検出されなかった。

月別ウイルス等分離・検出状況（令和6年4月～令和7年4月）

ウイルスの種類	分離月	令和6年												計	令和7年												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
エンテロ	エンテロウイルス 型不明				1				1		2	1	1	6	1										1		
	コクサッキーA 2型													0											0		
	コクサッキーA 4型													0											0		
	コクサッキーA 5型							1						1											0		
	コクサッキーA 6型								1					1											0		
	コクサッキーA 9型													0											0		
	コクサッキーA 10型													0											0		
	コクサッキーA 16型										2	2	2	6											0		
	コクサッキーB 5型													0											0		
	エコー 3型													0											0		
	エコー 5型													0											0		
	エコー 6型													0											0		
	エコー 11型												1	1	2										0		
	エコー 18型													0											0		
エンテロウイルス A71型													0											0			
その他のエンテロウイルス									1				1											0			
ライノ													0				11							11			
インフルエンザ	インフルエンザAH3型												0			1								1			
	インフルエンザA(H1N1)pdm09									1		4	9	14	7	3	1								11		
	インフルエンザB型系統不明												0												0		
	インフルエンザB型ビクトリア系統							3						3											0		
	インフルエンザB型山形系統													0											0		
パラインフルエンザ													0				1							1			
ムンプス													0											0			
RS	RS-A												0											0			
	RS-B												0				5							5			
	A群ロタ												0											0			
	C群ロタ												0											0			
	アストロ				1	1				1			2	5	1									1			
ノロ	ノロ G I 型												0											0			
	ノロ G II 型				1			1					2				1	5						6			
サボ	サボ 型不明											1	1	2	2	1								5			
	サボ G I 型												0											0			
	サボ G V 型												0											0			
アデノ	アデノ 型不明				1				1	1	1	3	7											0			
	アデノ 1型												0											0			
	アデノ 2型												0											0			
	アデノ 3型							1					1											0			
	アデノ 4型												0	1										1			
	アデノ 5型												0											0			
	アデノ 7型												0											0			
	アデノ 8型									2		1	3	1										1			
	アデノ 37型							1					1				1							1			
	アデノ 40/41型												0											0			
	アデノ 54型												0											0			
アデノ 56型												0											0				
アデノ 64型												0											0				
ヘルペス	ヘルペス 3												0											0			
	ヘルペス 4												0											0			
	ヘルペス 5												0											0			
	ヘルペス 6												0											0			
	ヘルペス 7									1			1											0			
水痘・帯状疱疹ウイルス													0				1						1				
バルボウイルスB19													0											0			
A群レンサ球菌										1			1				1							1			
黄色ブドウ球菌													0											0			
B群レンサ球菌													0				2							2			
ヒトメタニューモ													0				6							6			
ボカ													0				4							4			
COVID19													0				1							1			
百日咳													0				1							1			
セレウス菌													0											0			